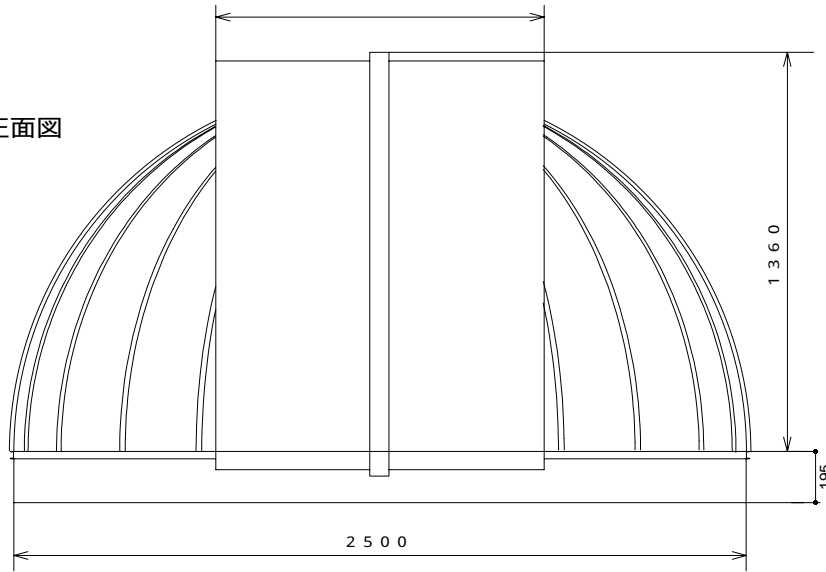
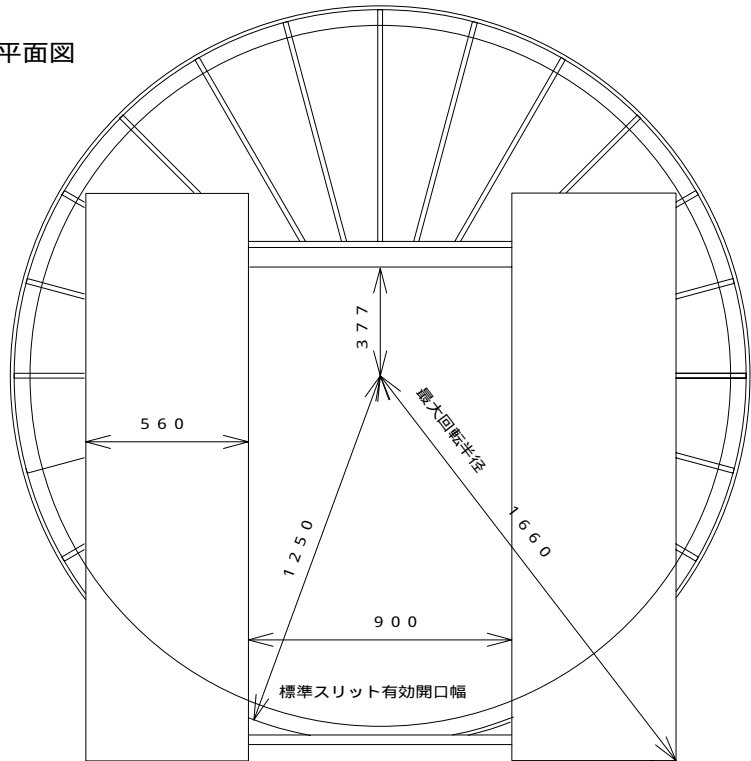


2.5 m 基本図

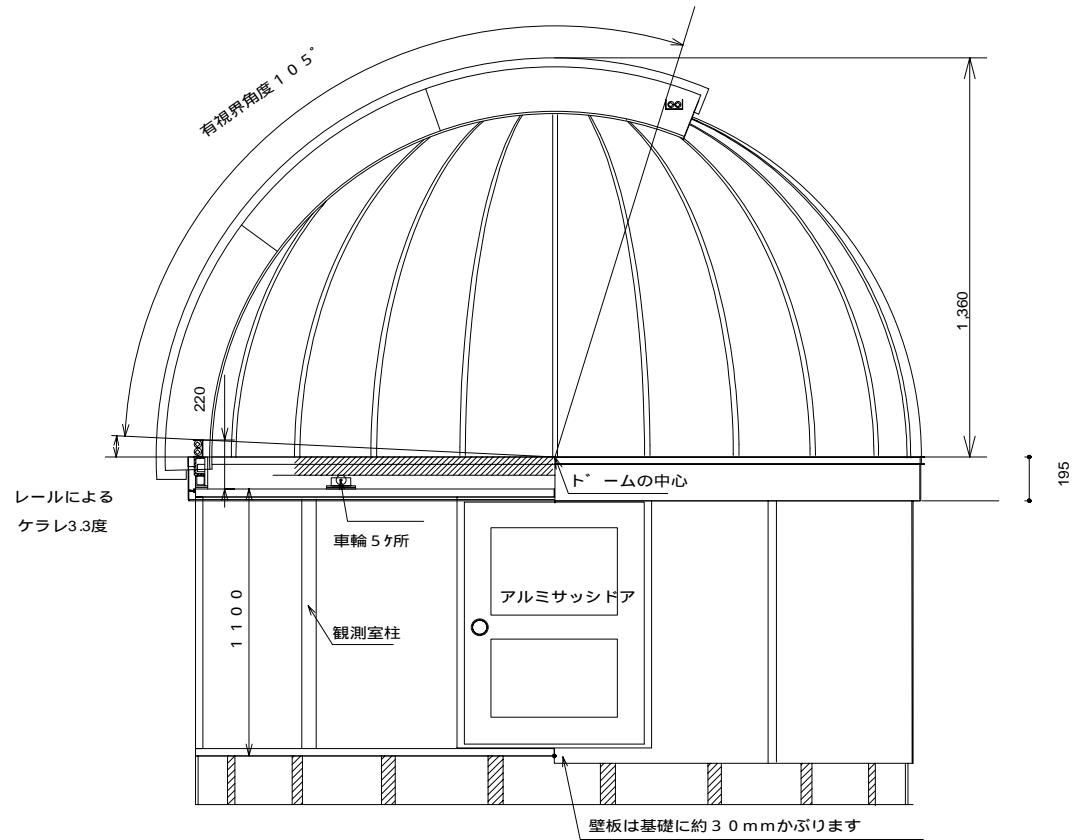
正面図



平面図

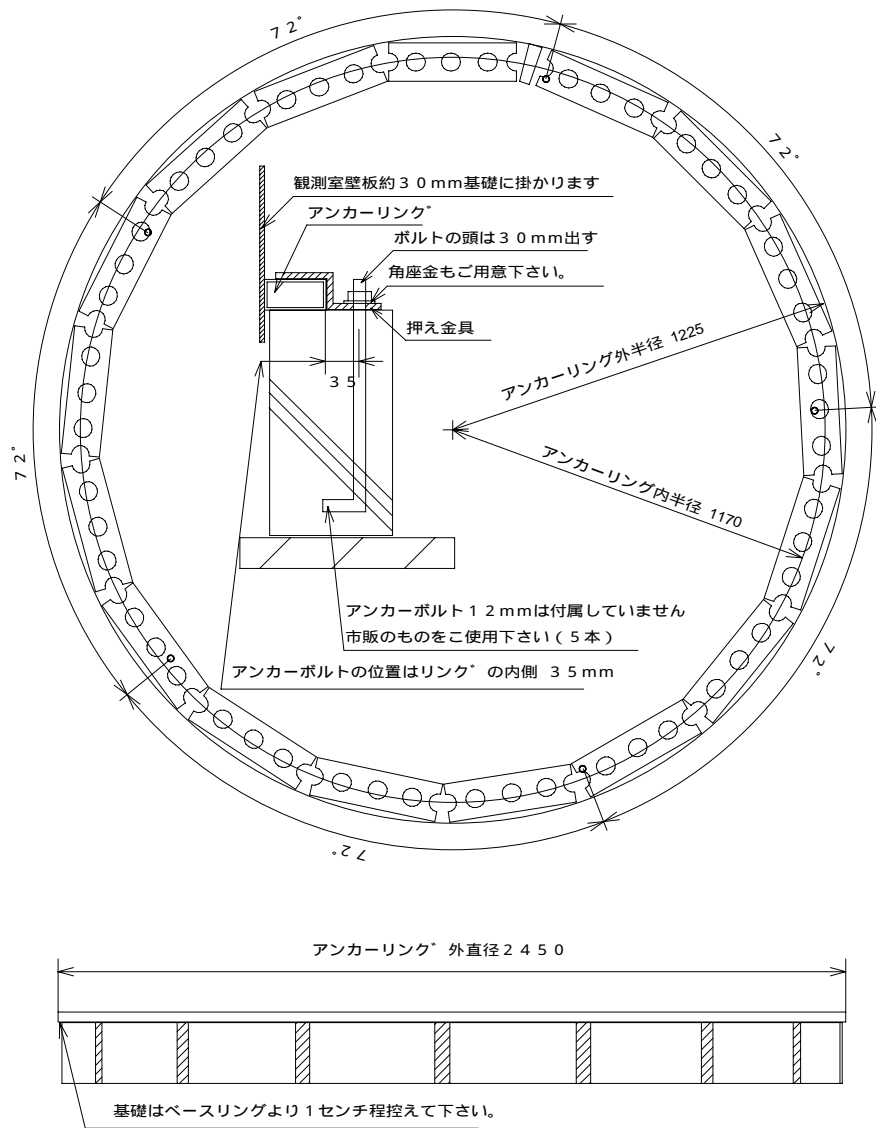


丸型観測室付側面図



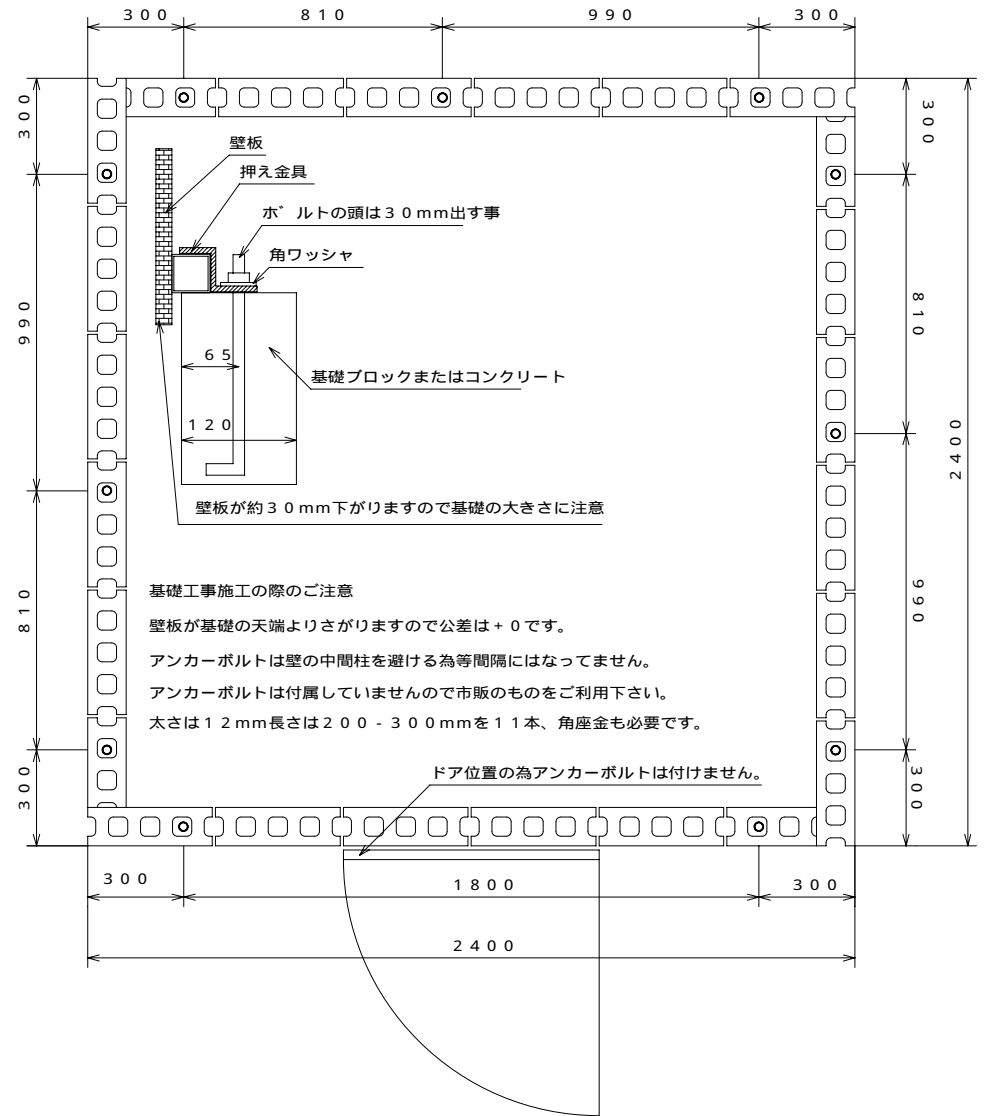
	ドーム仕様		観測室仕様
骨組み	軽量鉄骨製	骨組み	軽量鉄骨製
外装	18-8 (SUS304) ステンレス塗装仕上げ	丸型外装	カラー鉄板 0.8 ミリ使用、ジョイント-7mm ³ F B
骨組み塗装	鋼管は亜鉛メッキ仕上	角型外装	サイジング 芯材 硬質発泡ウレタン 1.5 ミリ
	その他の部分は常温亜鉛メッキ塗料ローバル使用	骨組み塗装	ドームに同じ
回転車輪	MC ナイロン製 60 5 個	観測室重量	100kg
強風時固定金具	5 個所		
付属品	スリットワンタッチロック、ドーム固定ドライバー		
ドーム重量	277kg		
回転用モーター	オプション 100V-40W-1A		
開閉用モーター	オプション 100V-40W-1A		

2.5 m 丸型観測室用 ブロック基礎参考図面

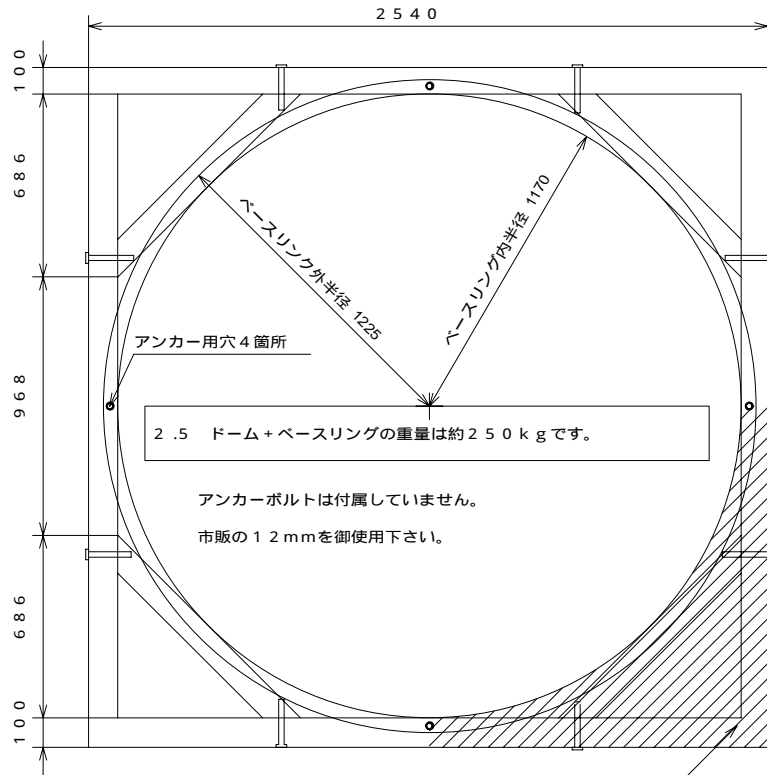


アンカーリングは前もって運送便で送ります。現物合わせで基礎工事をして下さい。

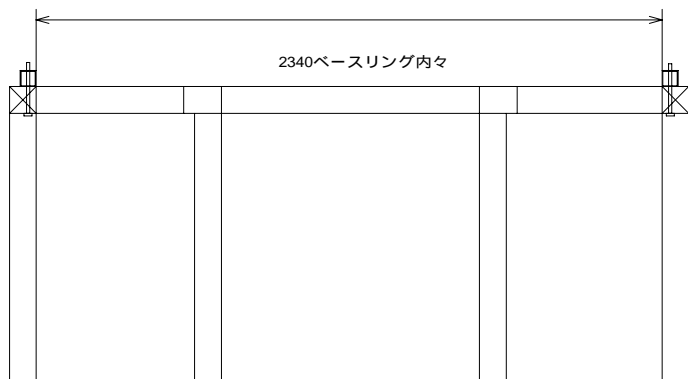
2.5 m ドーム角型観測室用基礎図面



2 .5 m 木造建物取り付け参考図



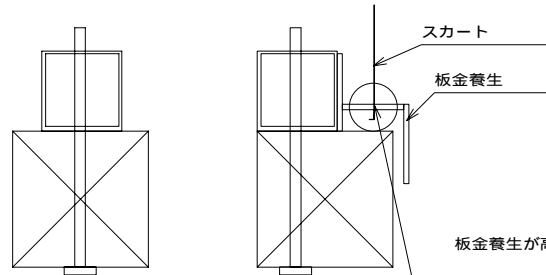
四隅は斜線のようにコンパネを敷く



観測室の外寸は自由です。

木造観測室製作上の注意点

- 1 まずこちらよりベースリング（外直径が2,450）を現場へ送ります。
- 2 ベースリングにはアンカーボルト用の穴が4カ所あいています。アンカーボルトは付いていません。
- 3 ドームとの取り付けの注意点は断面図A-Aのスカートと板金養生の隙間です。図b
- 4 スカートと板金の隙間は15mm程度で板金繋ぎ目を立ちあげたりするとスカートが擦ります。
- 5 アンカーボルトは内部を最大限活用するため材木の芯を内側にずらしてありますが材木の芯に持ってきてても差し支えありません。（内部は少し狭くなります）図a



図a

図b

